

第 102 回日本小児精神神経学会プログラム簡易版

2009 年 10 月 16 日（金）・17 日（土）

会場：中電ホール（名古屋市東区東新町 1 番地；名古屋の栄です）

参加費：7000 円（会員）、8000 円（非会員）、4000 円（学生、ただし学生証の提示が必要）

第 1 日 10 月 16 日（金曜日）

8：30—開場・研修セミナー受付（中電ホール）

9：00—11：00 研修セミナー（事前申し込みが必要です）

日本小児精神神経学会第 6 回研修セミナー学会企画プログラム

『被虐待児の家族支援：ペアレント・トレーニングを用いたアプローチ』

神戸少年の町（児童養護施設）施設長、社会福祉学博士 野口啓示

【申し込み方法】資料の準備の都合上、事前申し込みを原則といたします。必要事項をご記入の上、FAX か e-mail にて下記までお申し込みください。なお、申し込み締め切り期日は開催日 1 週間前といたします。会員は無料、非会員は 2000 円

必要事項：氏名、所属、職種、連絡先（tel/fax・e-mail アドレス）

連絡・申し込み先：fax:078-413-3093 e-mail ; yinagaki@konan-wu.ac.jp

甲南女子大学人間科学部 稲垣由子宛

11：00—学会受付（中電ホール）

12：20—開会あいさつ

12：30—13：10 一般演題 A：乳幼児期早期の発達と介入

13：10—14：00 一般演題 B：グループ治療など

14：10—14：50 一般演題 C：調査 1

14：50—15：30 一般演題 D：治療

15：40—16：40 一般演題 E：発達障害支援のための体制と連携

17：00—18：00 イブニングセミナー（共催：ヤンセンファーマ株式会社）

座長：宮島祐（東京医科大学病院小児科）

「発達障害の薬物療法—ADHD を中心として—」

根来秀樹（奈良教育大学障害児医学分野）

19：00—20：00 分科会：「現場で役立つ具体的支援」

テーマ 1 「座位保持援助」 名古屋市北部地域療育センター作業療法士 舟橋吉美

テーマ 2 「教室内での支援の工夫」 大口町立大口西小学校教諭 宮田ひろこ

第 2 日 10 月 17 日（土）

8：30—開場・受付開始

9：00—9：50 一般演題 F：調査 2

9：50—10：50 一般演題 G：言語・学習・運動機能障害等への支援に向けて

10：50—11：00 休憩

11：00－12：00 特別講演

座長：今枝正行（名古屋市北部地域療育センター）

「全身疾患としての自閉症」

熊谷俊幸（愛知県心身障害者コロニーこぼと学園長）

13：00－14：00 ランチョンセミナー（共催：日本イーライリリー株式会社）

内容はプログラム作成段階でまだ未定です。当日をお楽しみに。

14：00－14：30 休憩・会場準備・シンポジウム一般参加者受付

14：30－17：30 公開シンポジウム：「成人期の課題から早期支援を考える」

司会：石川道子（名古屋市立大学小児科、NPO 法人アスペ・エルデの会）

講師：別府哲（岐阜大学教育学部教授）

「発達障害児者の自己理解と支援」

講師：大村豊（愛知県立城山病院社会復帰部デイケア科医長）

「成人期に診断を受けた発達障害者のためのグループワークから見えてきたもの」

講師：角谷勝己（名古屋市障害者雇用支援センター）

「発達障害者の就労支援—当事者、支援者双方に必要なもの—」

17：30－閉会のあいさつ